

各 位

熊本県卓球協会

会 長 松 本 秀 幸

第一三共ヘルスケア・レディース 2017・第40回全国レディース卓球大会
熊本県予選

1. 大会名 第一三共ヘルスケア・レディース 2017/第40回全国レディース卓球大会 熊本県予選
2. 主 催 熊本県卓球協会
3. 日 時 平成29年4月30日（日曜） 午前9時開会
4. 場 所 八代市総合体育館 八代市緑町11-1 TEL 0965-35-0150
5. 種 目 ①団体戦（4単1複） ②個人戦ダブルス（合計年齢）
6. 試合方法 ①団体戦

(1) チーム編制

監督1名、コーチ1名、選手6～9名で編成登録し、競技は6名による1ダブルス4シングルスで行なう。なお、選手が監督、コーチを兼ねることは差し支えないが、必ず選手登録をすること。

(2) オーダー順序

1	2	3	4	5
60歳以上	50歳以上	ダブルス	40歳以上	30歳以上

出場選手は、シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。

選手が年齢条件を満足する場合、試合毎に出場年代を変更して出場する事が出来る。

ダブルスには、年齢条件はない。

②個人戦ダブルス（合計年齢）

※合計年齢の多いペアが、合計年齢の少ない種目へ出場することはできる

A 合計年齢 60歳～109歳

B 合計年齢 110歳～125歳

C 合計年齢 126歳以上

D 合計年齢 140歳以上（但し二人共、70歳以上である事）

7. 参加資格 (1) 団体戦

- ①平成29年度(公財)日本卓球協会登録者であること。
- ②クラブのメンバーは、平成29年4月1日から同クラブへ入会している事。
- ③参加チームのメンバー構成は、原則として同一クラブに所属していること。但し、同一クラブで年齢制限等により編成できない場合に限り、当該加盟団体長の承認があれば同一都道府県内において、2つのクラブでのチーム編成ができる。(3つ以上のクラブでの混成は不可)
*隣接都道府県での編成は認めない
- ④本大会での同一チームからの出場チームは1チームとする。また、同一チームでA/B/C・・・などに区分して予選に出場できる。但し、代表決定後A/B/Cのチーム間で選手交換する事はできない。
- ⑤参加年齢は30歳以上の女性とする。(監督、コーチはこの限りではない)
年齢は、平成30年4月1日迄に当該年齢に達している者である事。
30歳以上 昭和63年4月1日以前に生まれた者であること。
40歳以上 昭和53年4月1日以前に生まれた者であること。
50歳以上 昭和43年4月1日以前に生まれた者であること。
60歳以上 昭和33年4月1日以前に生まれた者であること。
- ⑥本大会前年度ベスト8のチームは、チーム構成に前年度出場選手4名を含めることを条件に推薦出場できる。
- ⑦第35回全日本クラブ卓球選手権大会(平成29年度)と本大会に重複しての出場はできない。

(2) 個人戦

- ①上記、団体戦資格に準ずる。但し、同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。
- ②団体戦参加者(登録者)は出場できない。

8. 使用球 40mmホワイト

9. 参加料 団体戦1チーム 5,000円 ダブルス1組 1,500円 (参加料返金はいたしません)

10. 競技規則 現行の日本卓球ルールによる。タイムアウト制は導入しない。

11. 申込方法 平成29年4月10日(月)までに参加料を添えて申し込むこと。

振込先：郵便局 口座番号 17170 番号 21880031

加入者名 熊本県卓球協会

※ 現金書留・郵便為替・協会持参でも受け付けます。

12. 申込先 〒862-0950 熊本市中央区水前寺1丁目15-4 ダイコー水前寺駅通り3 (1F)

熊本県卓球協会 TEL (096)387-2299

※ 開設時間 月曜～金曜 13時～17時まで

13. アドバイザーについて

- (1) 「日卓協」及び「熊本県卓協」登録者に限ります。
- (2) 複数のコートと同時にアドバイスすることはできません
- (3) 選手はコートを離れてアドバイスを求めてはいけません
- (4) アドバイザーは一度コートを離れたら元のコートに戻ることはできません。

14. その他

- (1) 選手は必ず平成29年度日本卓球協会指定のゼッケンをつけること。
- (2) 電話及び締切日以後の申込は一切受け付けません。
- (3) ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
- (4) 全国大会は7月28日～30日 高松市総合体育館で行なわれる。

※ 全国大会出場枠

団体戦 ⇒ 1チーム /ダブルス ⇒ A・B・C・D 各 1組

- (5) 団体戦に出場するチームの全競技者及びダブルスを組む場合は、靴及び靴下を除いて同じ服装で競技しなければならない。